

2026年運輸安全マネジメント

『改進』

～役職員全員が共通意識を持ち、次なるステージに向け改めて進む～

株式会社トツキュウ

1.事故防止のための安全方針

- 運送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識する
- 安全マネジメントを確実に実施し、全社員一丸となって業務を遂行する事により、絶えず輸送の安全性の向上に努める
- 輸送の安全に関する情報について、積極的に公表掲示する

2.社内への周知方法

- 毎日の朝礼時・営業所会議・乗務員教育、指導時に法令順守・人命第一を社員に周知する

3.安全に基づく目標

- 自動車事故を年間0件にする
- 物損事故を年間0件にする
- 労災事故を年間0件にする
- 自動車事故報告規則第2条に規定する事故件数を年間0件にする

4.目標達成のための施策

- デジタルタコグラフ及び指導によるスピード管理を行う
- アルコール検知器及び点呼時による健康管理を行う
- 労務管理により時間管理・過重労働を防止する
- 車両整備等の記録を残し、整備・運行管理者がチェックする
- 乗務員教育(ヒヤリハット・KYT含)を月1回実施する
- 乗務員への事故削減を目的とした研修会を年30時間実施する
- 安全衛生委員会・安全委員会による内部監査を含む会議を月1回実施する
- 社内・社外の安全パトロールを月1回実施する
- 外部機関への研修に参加する

5.安全に関する情報交換方法

- 事務所内掲示、点呼・朝礼・終礼時に情報共有を行う
- HPへの掲載等により、外部へ公表する
- 朝礼・終礼時にヒヤリハット報告を行う



6.事故に関する情報

- 発生時、社内の事故速報に基づいて緊急連絡網で伝達する
- 自店、他店にかかわらず事故報告に基づき安全委員会を開催し、状況把握・発生原因・改善等を話し合う

7.昨年の実績(2025.1.1～2025.12.31)

目標	実績	評価	原因等
自動車事故	0 件	2 件	C 前方不注視及び漫然運転、周囲の確認が不十分
物損事故	0 件	2 件	C 製品特性の認識不足
労災事故	0 件	0 件	A
自動車事故報告規則 第2条に規定する事故	0 件	0 件	A
目標	実績	評価	原因等
デジタルタコグラフ及び指導によるスピード管理を行う	通年	通年	A
アルコール検知器及び点呼時による健康管理を行う	通年	通年	A
労務管理により時間管理・過重労働を防止する	通年	通年	A
車両整備等の記録を残し、整備・運行管理者がチェックする	通年	通年	A
乗務員教育(ヒヤリハット・KYT含)を実施する	12回/年	12回/年	A
乗務員への事故削減を目的とした研修会を実施する	30時間/年	30時間/年	A
安全衛生委員会・安全委員会による内部監査を含む会議を実施する	12回/年	12回/年	A
社内・社外の安全パトロールを実施する	12回/年	12回/年	A
外部機関への研修に参加する	1回/年	1回/年	A

※改善すべき指摘事項が発生した場合は速やかに安全会議を開催し、是正又は予防措置を行う

2026年1月5日

代表取締役社長 工藤 真也
関東営業所長 中村 豊